

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

動脈脈波速度 (Pulse Wave Velocity) (PWV) と皮膚糖化タンパク (Advanced Glycation Endproducts) (AGE) 測定における生化学的動脈硬化指標との関連と動脈硬化疾患イベント発症との観察研究

2. 研究の対象患者

旭中央病院を受診し、ABI/PWV検査およびAGE検査を施行した方

・選択基準

以下の基準を全て満たす患者さんを対象とする

- 1) 旭中央病院予防医学研究センターを受診し、ABI/PWV検査および皮下AGE検査を施行した方
- 2) 性別不問
- 3) 年齢不問

・除外基準

以下のいずれかに抵触する患者さんは本研究に組み入れないこととする

- 1) 研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2021年4月1日～2026年3月31日

4. 研究の概要

心血管疾患は世界では、死因の第一位であり、我が国においても悪性腫瘍について死因の第二位であり、今後高齢化社会において増加するものと予想される。動脈硬化疾患は、血管への脂質の蓄積、炎症細胞浸潤、線維成分などによる動脈閉塞や狭窄を起こす進行性の疾患である。またその増加の背景には、糖尿病患者やインスリン抵抗性を併発した耐糖能異常人口の増加もある。現在全身の動脈硬化を評価する手段として pulse wave velocity (PWV) や下肢の動脈狭窄の評価として ankle brachial index (足関節上腕血圧比) (ABI) が臨床的に広く用いられている。これらの指標は、心血管イベントにての死亡の予測として有用であるとする多くの報告がある。また最近開発された皮下の糖化タンパク (advanced Glycation Endproducts) (AGE) を測定できる AEG Reader による報告では、動脈の弾性 (arterial stiffness) と相関し、また年齢、インスリン抵抗性と関連する論文が報告されている。今回 PWV と皮膚 AGE を検診受診者に測定することで、これらと一般の生化学的動脈硬化指標との関連やこれらの値による今後の心血管イベントなどを中心にした定期的観察により簡便な検査から得られる指標としての有用性の確認する研究を立案した。

5. 研究実施予定期間

2021年5月19日～2027年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目、診断名

〔血液学的検査〕：RBC、Hb、WBC、Neu (%)、Lym (%)

〔血液生化学的検査〕：BS、HbA1c、LDL、HDL、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、BUN、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca

〔生理学的検査〕：心電図、PWV、ABI、AGE、

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも

患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 予防医学研究センター 橋本尚武

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)